

組立説明書【連棟】

このたびは、イナバガレージ「アルシアフィット」をお買い上げくださいまして誠にありがとうございました。

私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。

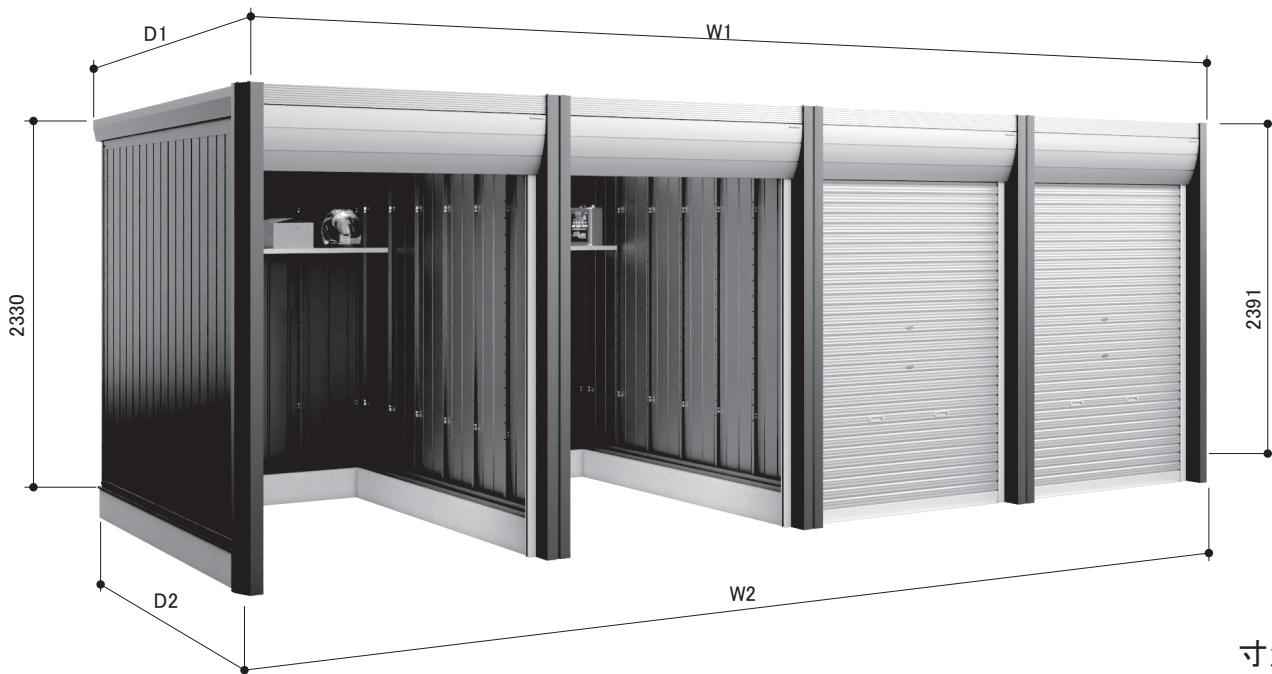
どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。

組立説明書の基礎・転倒防止工事(アンカー工事)については標準的施工方法とします。

組立説明書と異なる施工を行う場合は、予め当社にご相談ください。

写真はDM-1826HDA-4



寸法図
(単位:mm)

機種	W1	W2	D1	D2
DM-1826HDA-L			2815	2735
DM-1830HDA-L	1790×N+80		3235	3155
DM-2226HDA-L			2815	2735
DM-2230HDA-L	2210×N+80		3235	3155
DM-2235HDA-L			3655	3575
DM-2626HDA-L			2815	2735
DM-2630HDA-L	2630×N+80		3235	3155
DM-2635HDA-L			3655	3575



1. 転倒防止工事を必ず行ってください。
2. 風の強い日の組み立ては避けてください。
3. ユーザーの組み立てはなるべく2人以上で行ってください。
4. 30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
5. 組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具や脚立等を使用してください。
6. 組み立て中は部材の転倒防止のために、つっかい棒やロープなどを使用してください。
7. 組み立て途中で放置しないでください。
8. 高トルクのインパクトドライバーをご使用の際は、ボルトの締めすぎにご注意ください。

組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めの必要はありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかつたり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

1. 基礎施工（土間タイプ）

入口部の基礎高さが、地盤面(G.L)かつ土間面(F.L)のどちらからも50~200mm（高基礎仕様の場合：200~500mm）の範囲に納まるように、水盛り・造り方にしたがって根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にして下さい。
—↑ 注意—

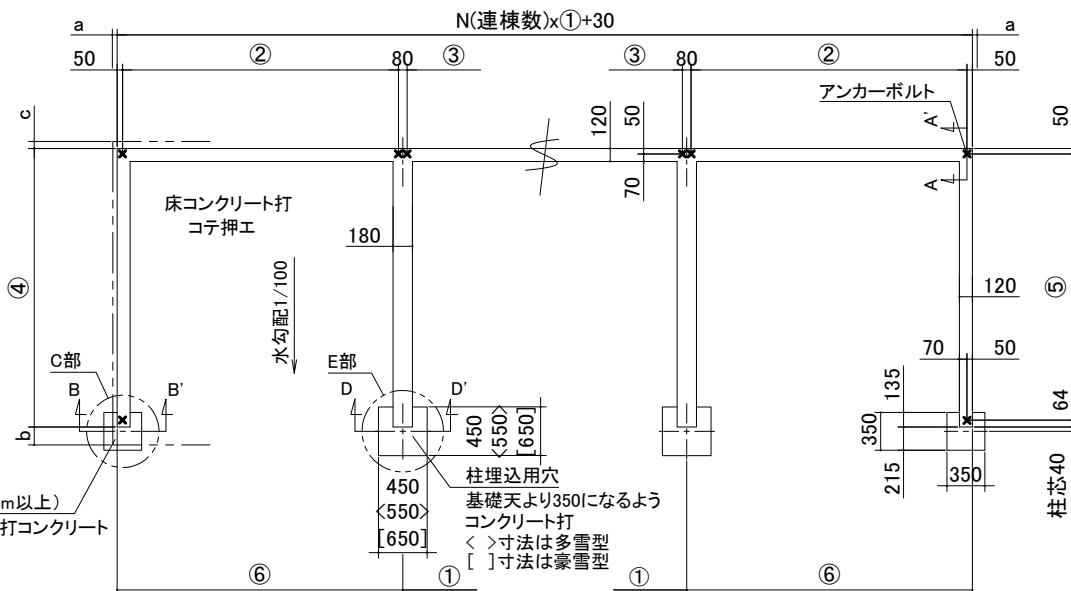
安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

— △ 注意

アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

[单位:mm]

* …アンカーボルト位置を示す --- …屋根のラインを示す a,b,c…屋根の出幅を示す(a=25,b=171,c=65)

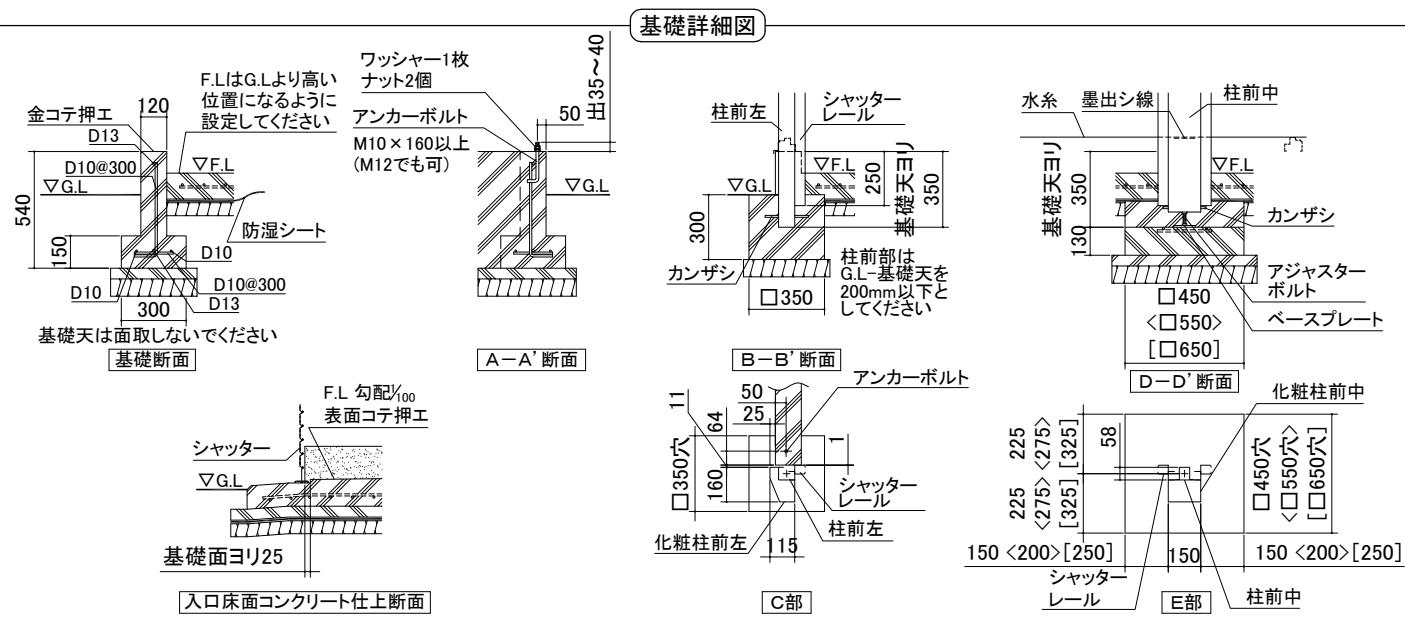


基礎寸法一覽

	①	②	③	④	⑤	⑥
DM-1826L型	1790	1715	1710	2579	2465	1805
DM-1830L型	1790	1715	1710	2999	2885	1805
DM-2226L型	2210	2135	2130	2579	2465	2225
DM-2230L型	2210	2135	2130	2999	2885	2225

	①	②	③	④	⑤	⑥
DM-2235L型	2210	2135	2130	3419	3305	2225
DM-2626L型	2630	2555	2550	2579	2465	2645
DM-2630L型	2630	2555	2550	2999	2885	2645
DM-2635L型	2630	2555	2550	3419	3305	2645

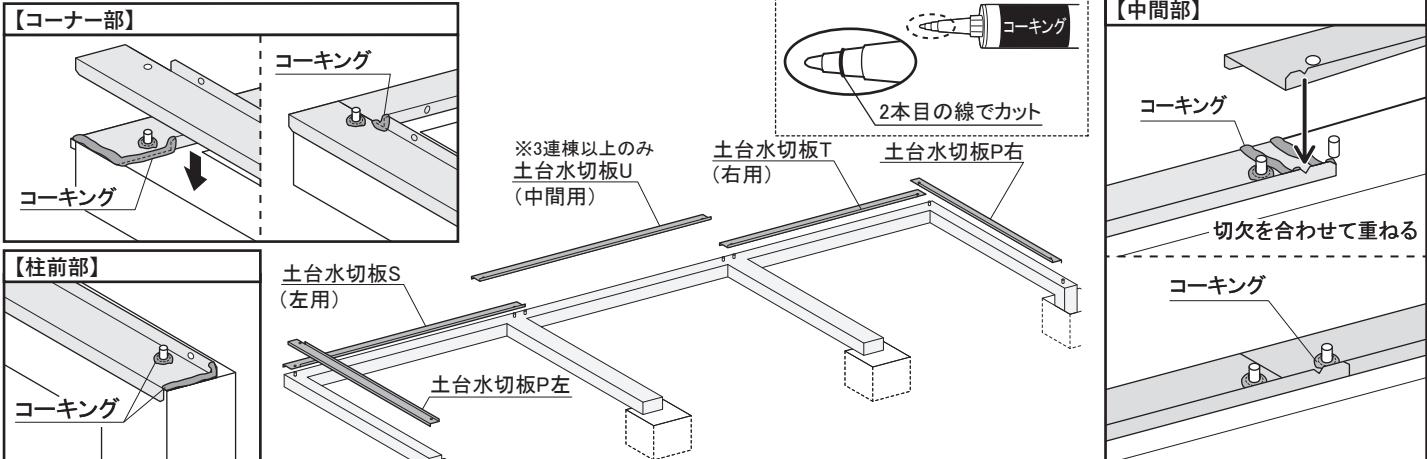
※DM-1826.1830.2226.2230.2626.2630L型は一般型・多雪型・豪雪型、DM-2235.2635L型は一般型のみ



2. 土台水切板取付

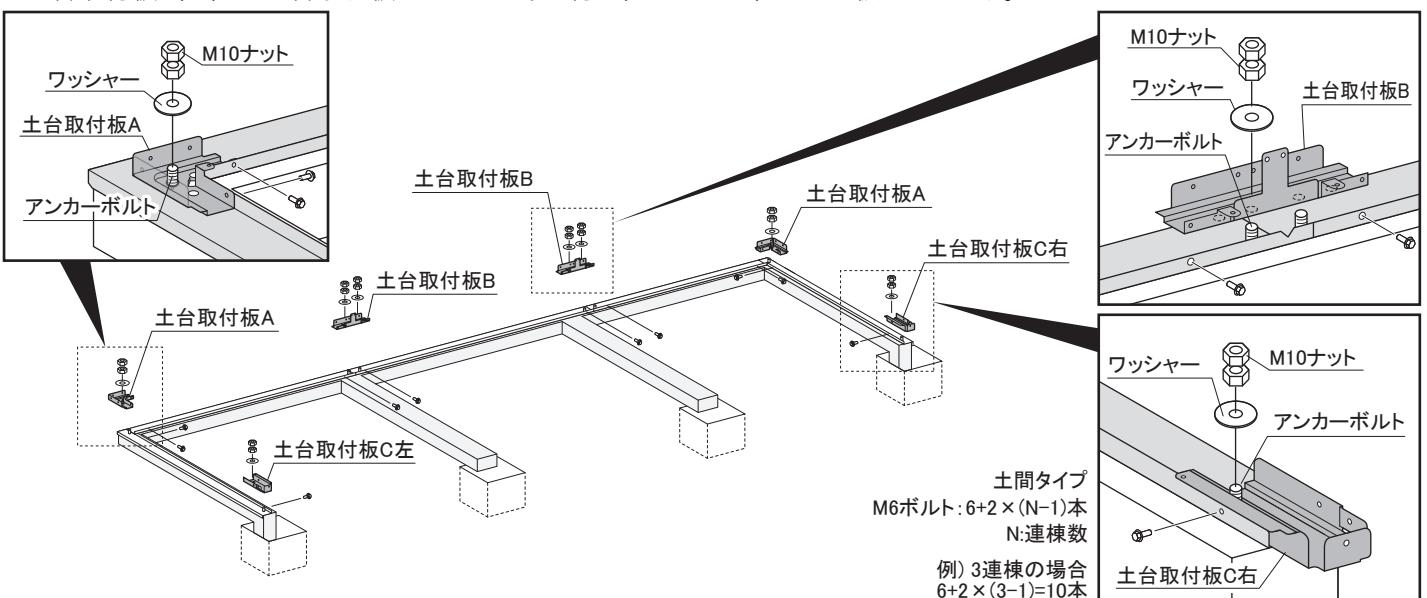
土台水切板を基礎にのせ、つなぎ部分とアンカーボルト用の穴を下図のようにコーリングします。

※内部に雨水が侵入する恐れがありますので、必ずコーリングをしてください。コーリングのノズルは、2本目の線でカットしてください。(φ8程度)



3. 土台取付板取付

土台取付板A、B、Cを土台水切板にボルトで取り付け、ワッシャー、ナットを仮止めします。



4. 土台取付

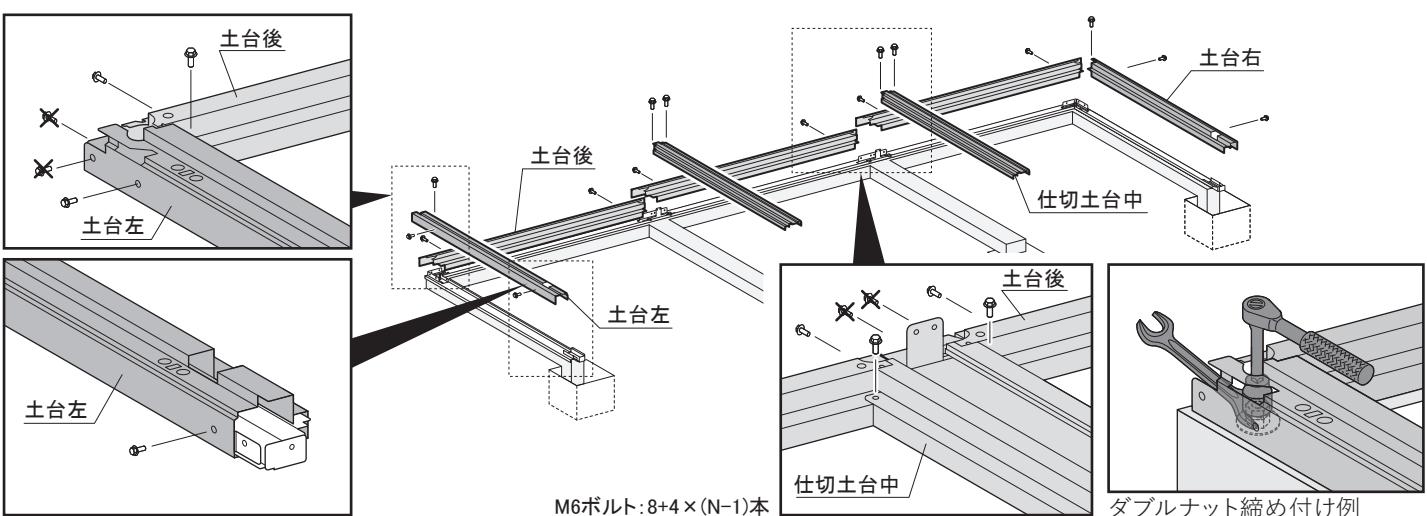
①土台後を土台取付板A、Bにかぶせます。次にボルトを仮止めします。

②土台右・左は土台後と土台取付板Cに、仕切土台中は土台後と土台取付板Bにかぶせ、ボルトを仮止めします。直角を出してからボルトを本締めしてください。

※外側隅部と中間部内側の穴はボルトをとめないでください。(柱の取り付けができなくなります。)

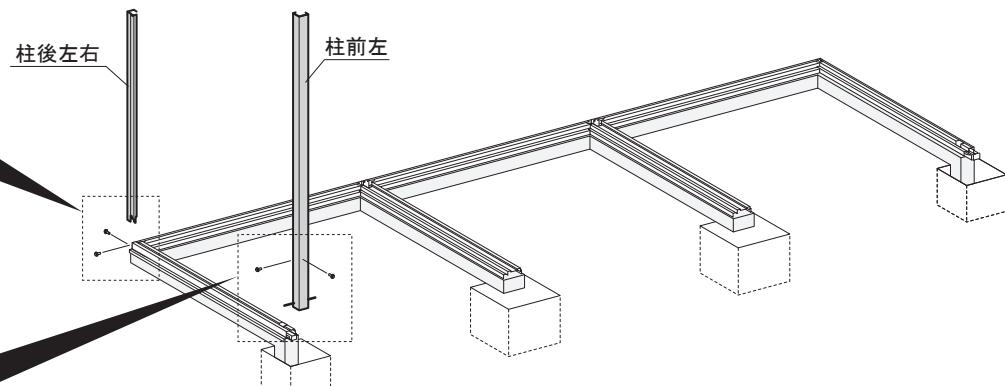
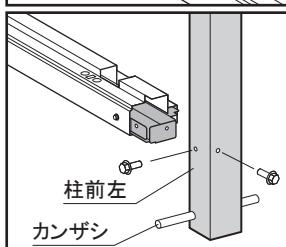
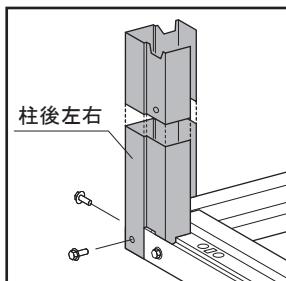
③仮止めしてあったアンカーボルトを締めます。アンカーボルトの締め付けはナット2つを締め付けた後、必ず上側のナットを押えながら下側のナットを左回りに締め付けてください。

※アンカーボルトはダブルナット(ナット2つ)によるゆるみ止めを確実におこなってください。



5.柱前左・柱後左右取付

- ①柱後左右を土台に差し込みボルトで取り付けます。
- ②柱前左にカンザシを入れ、土台左右にボルトで取り付けます。

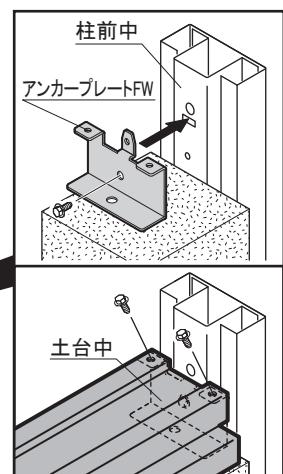
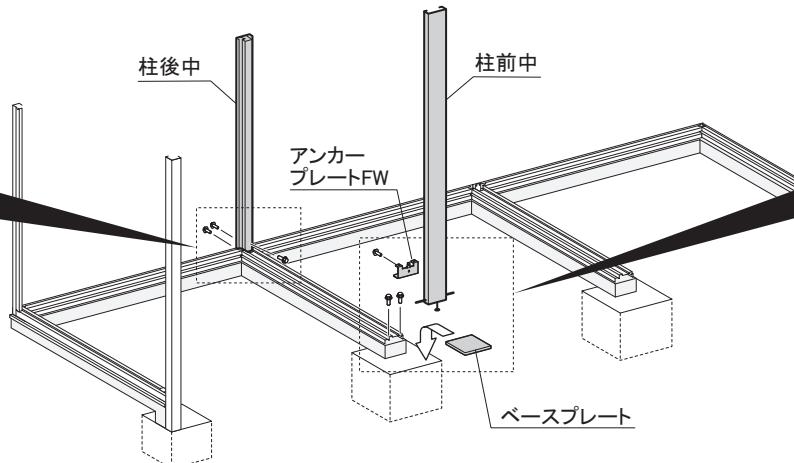
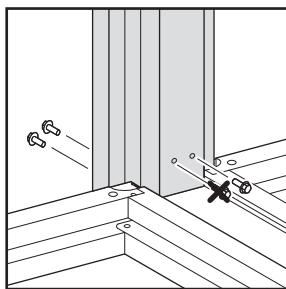


M6ボルト:4本

6.柱前中・柱後中取付

- ①柱前中の下にベースプレート敷きます。柱前中にカンザシを入れ、アンカープレートFWをボルトで取り付けます。
- ②柱後中を土台に差し込みボルトで取り付けます。

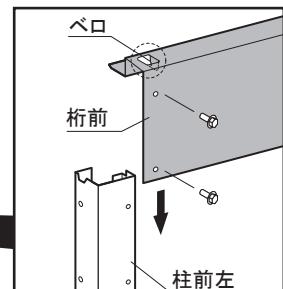
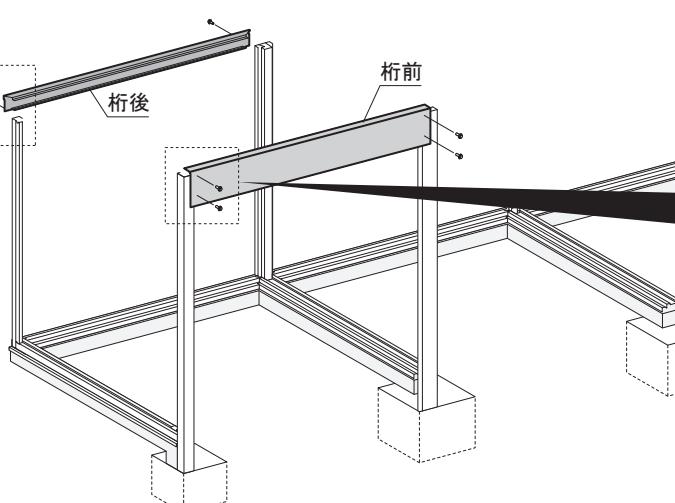
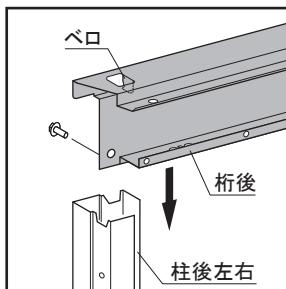
※柱内側の左の穴はボルトはとめないでください。(間仕切壁の取り付けができなくなります。)



M6ボルト:6本

7.桁取付

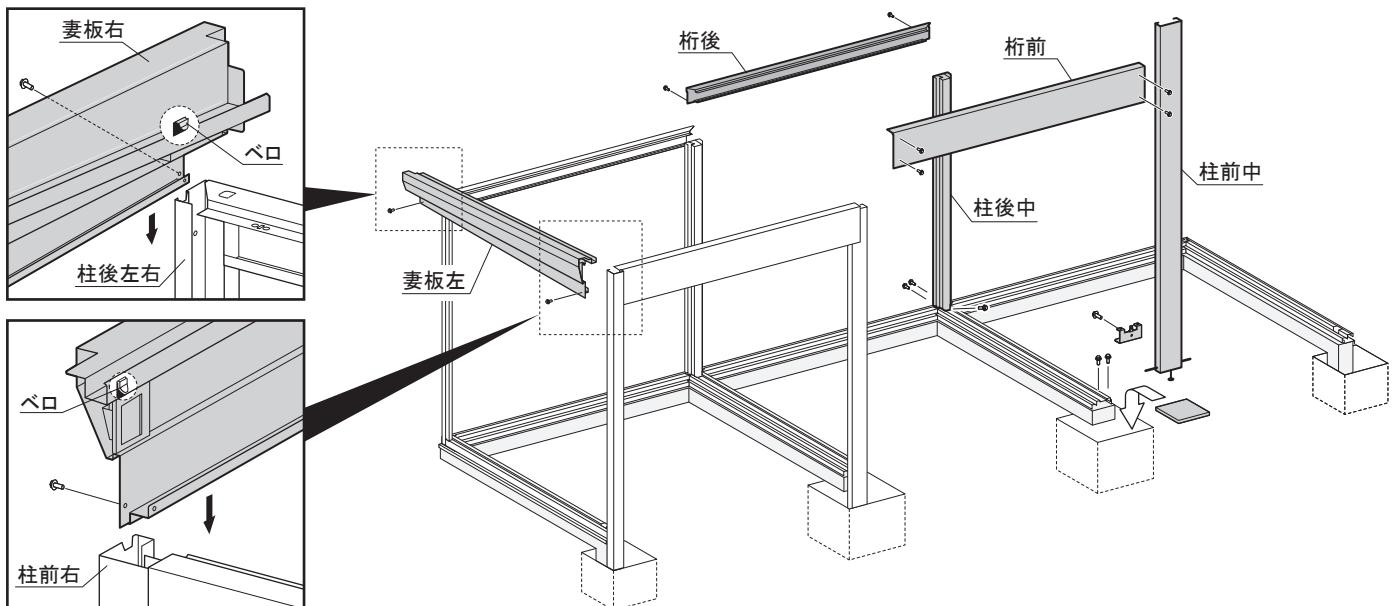
- 桁前、桁後のベロを柱に引っかけ、ボルトで取り付けます。



M6ボルト:6本

8.妻板左・柱・桁取付

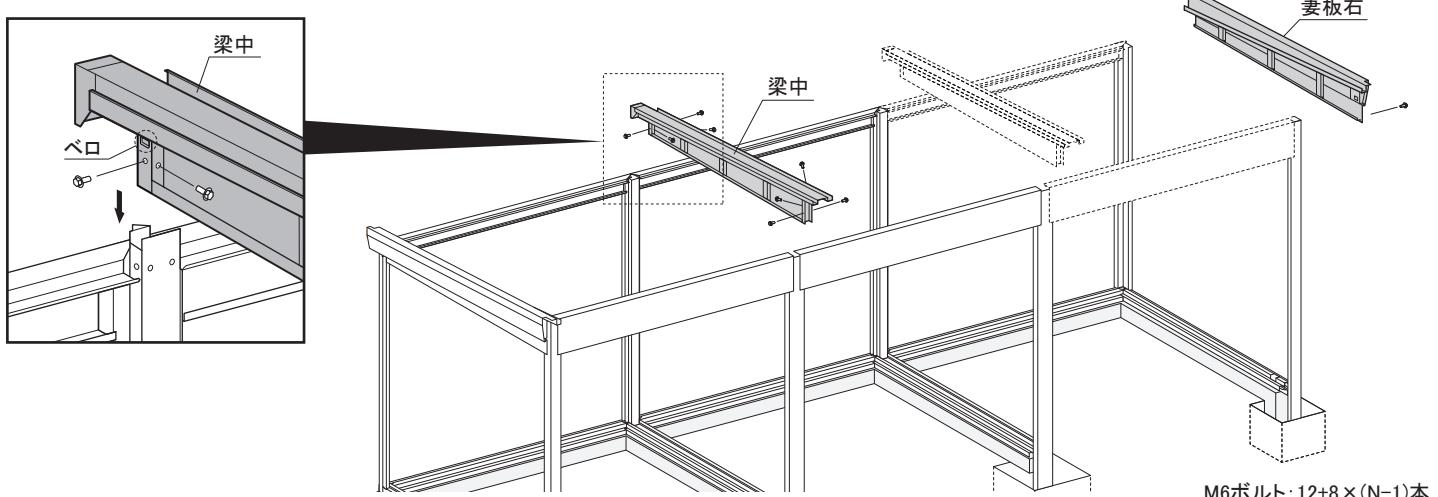
- ①妻板左のベロを柱に引っかけ、ボルトで取り付けます。
②柱前中・柱後中をたて、桁前・桁後をボルトで取り付けます。(取付方法は「6.柱前中・後中取付」参照)



M6ボルト: 2+12×(N-2)本

9.梁中・妻板右取付

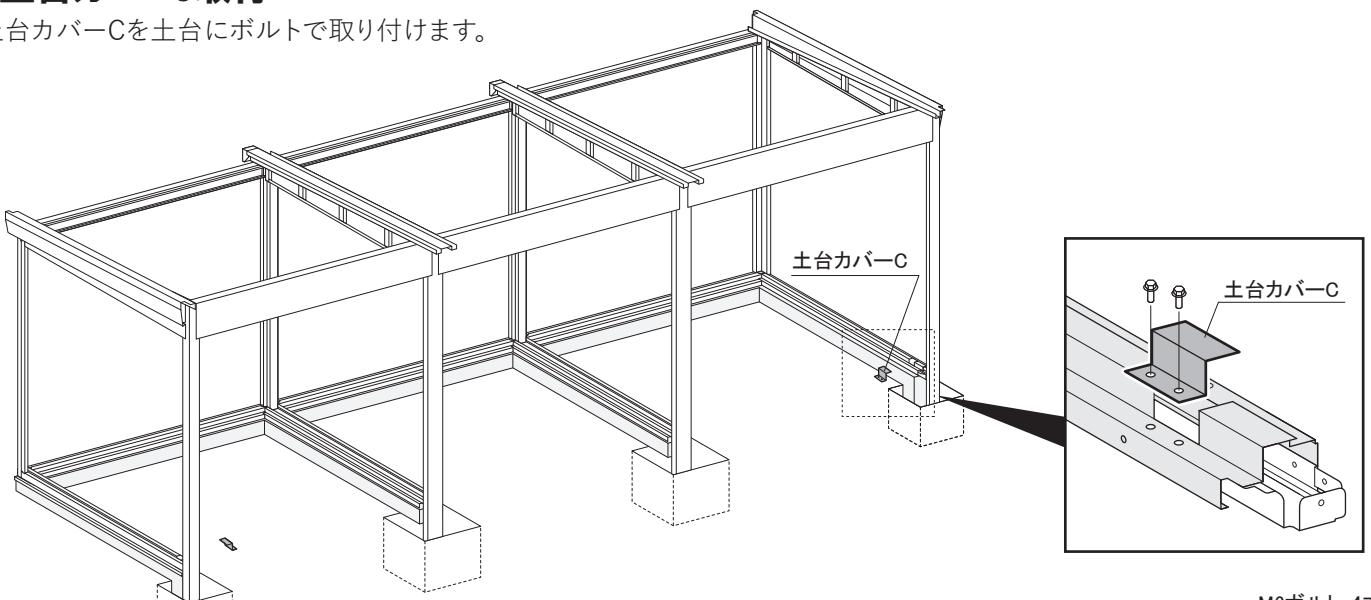
- ①梁中のベロを柱に引っかけ、ボルトで取り付けます。
②連棟数分「8」「9」の手順をくりかえします。最後の棟は柱前右、柱後右をたてます。(取付方法は「5.柱前左・柱後左右取付」参照)
③妻板右を柱に引っかけ、ボルトで取り付けます。



M6ボルト: 12+8×(N-1)本

10.土台カバーC取付

- 土台カバーCを土台にボルトで取り付けます。

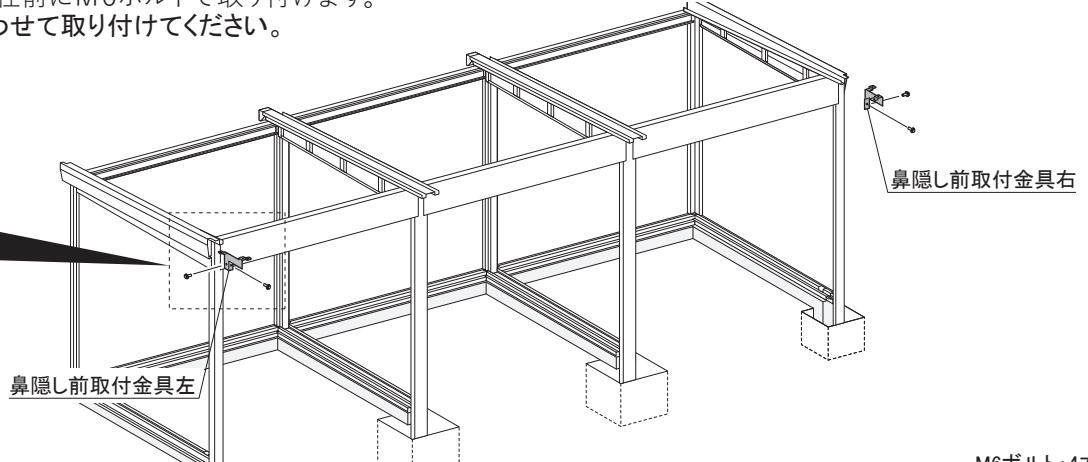
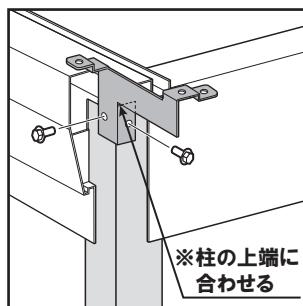


M6ボルト: 4本

11. 鼻隠し前取付金具取付

鼻隠し前取付金具右・左を柱前にM6ボルトで取り付けます。

※金具を柱前の上端に合わせて取り付けてください。

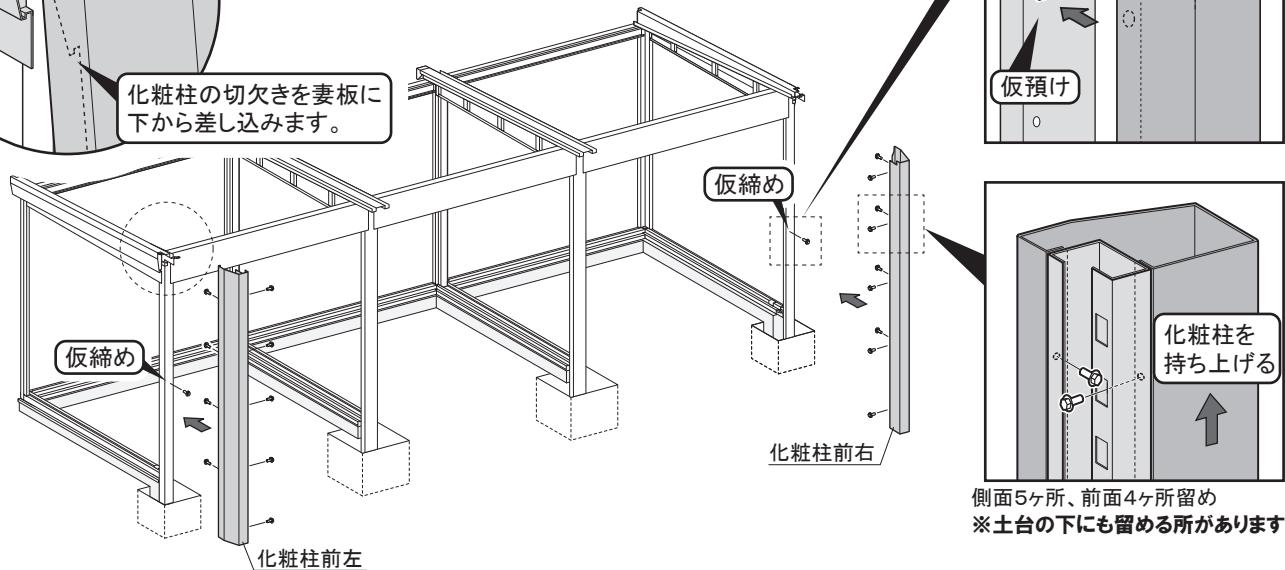
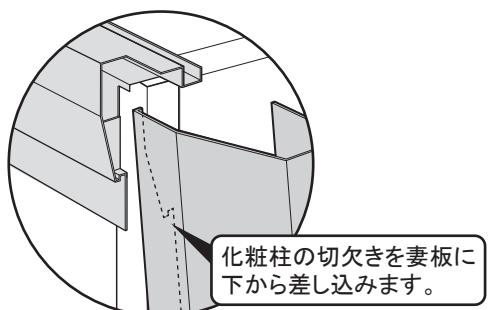


12. 化粧柱前取付

①柱前にM6ボルトを仮止めし、そこに化粧柱前右・左をひっかけて仮預けします。

②化粧柱前右・左を持ち上げて穴を合わせ、庫内側からM6ボルトで取り付けます。

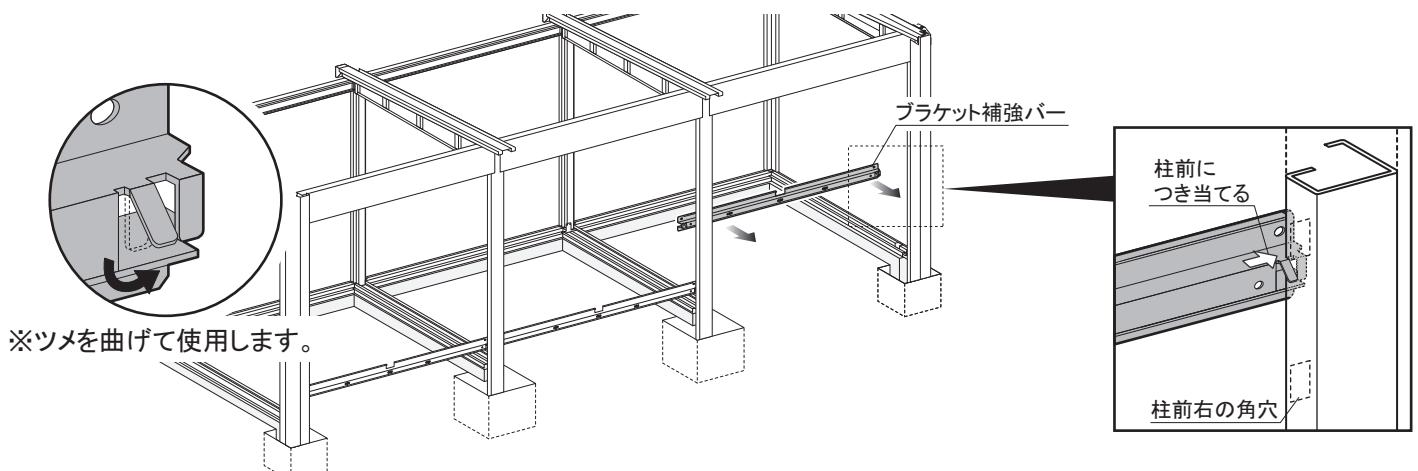
※仮締めのボルトは落下防止用なので、化粧柱を引っかけただけの状態ではボルト留めできません。



M6ボルト:20本

13. プラケット補強バー取付

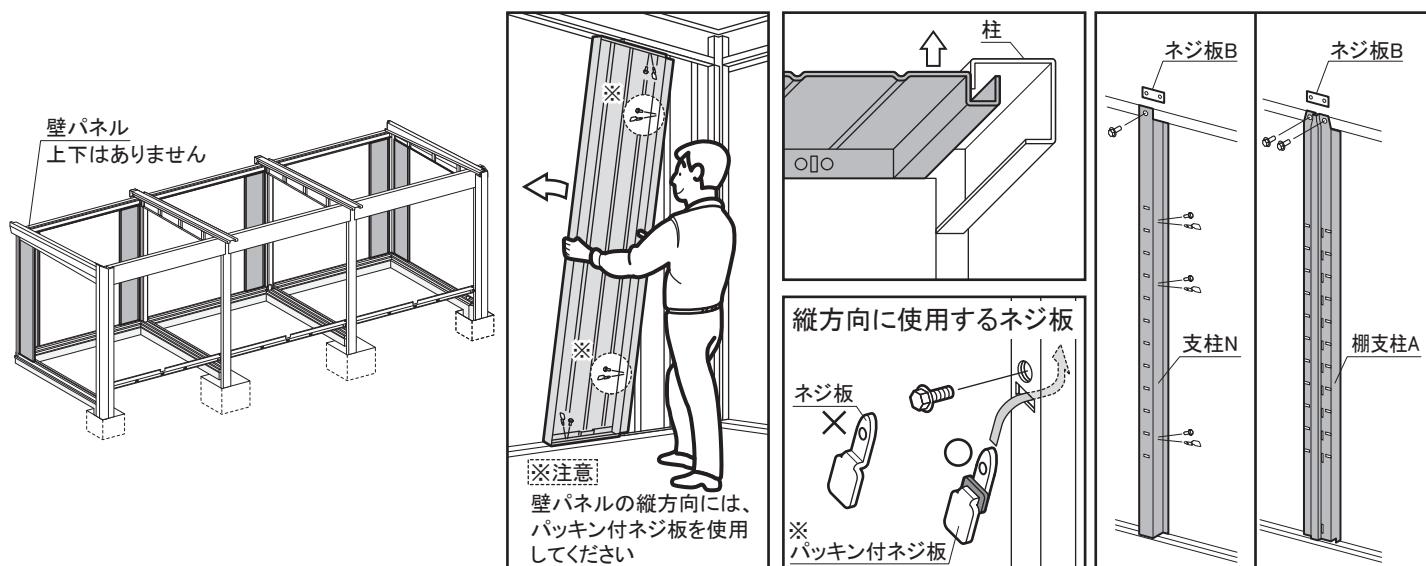
プラケット補強バーの両端にあるツメをプライヤーやマイナスドライバー等で曲げ、柱前の下部に引っかけて柱位置を確認します。



14.壁パネル取付

壁パネルを下図のように内側から柱後(中)にボルトとネジ板で取り付けます。(ゆがみや倒れの防止になります。)

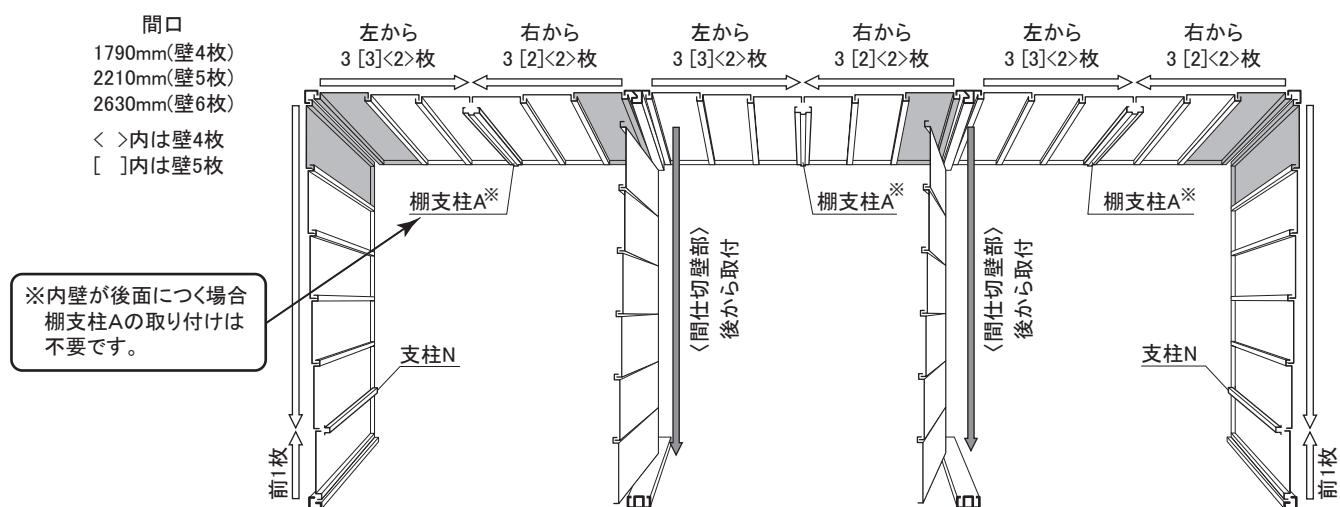
※下図の壁パネルの位置に別売のガラス窓等が付く場合は、壁パネルの取り付けは不要です。



●壁パネル組合せ図

壁パネルの組立順が違いますと、棚板が付かない・雨もりがする等の原因となります。

※ 部以外の壁パネルは、「19.鼻隠し・化粧柱キャップ取付」で取り付けてください。



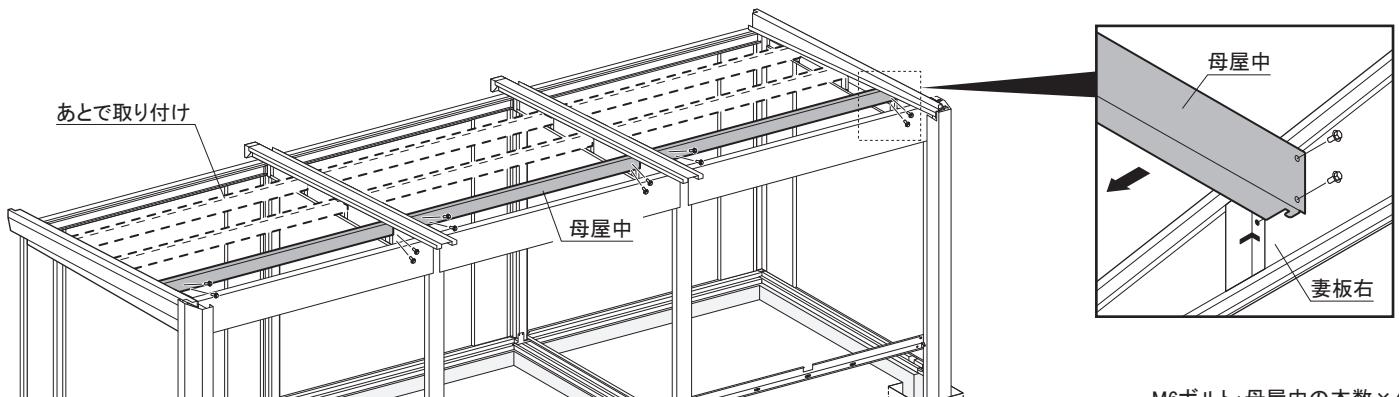
【ボルト・ネジ板数】

機種	1826HL	1830HL	2226HL	2230HL	2235HL	2626HL	2630HL	2635HL
M6ボルト	60 × N+30	65 × N+33	64 × N+30	69 × N+33	74 × N+36	68 × N+30	73 × N+33	78 × N+36
ネジ板	46 × N-2	51 × N-3	48 × N-2	53 × N-3	58 × N-4	50 × N-2	55 × N-3	60 × N-4
パッキン付ネジ板	12 × N+30	12 × N+34	14 × N+30	14 × N+34	14 × N+38	16 × N+30	16 × N+34	16 × N+38
ネジ板B	N+2							

15.母屋中取付

母屋中を妻板・梁中の母屋受けにはめ込み、ボルトで取り付けます。

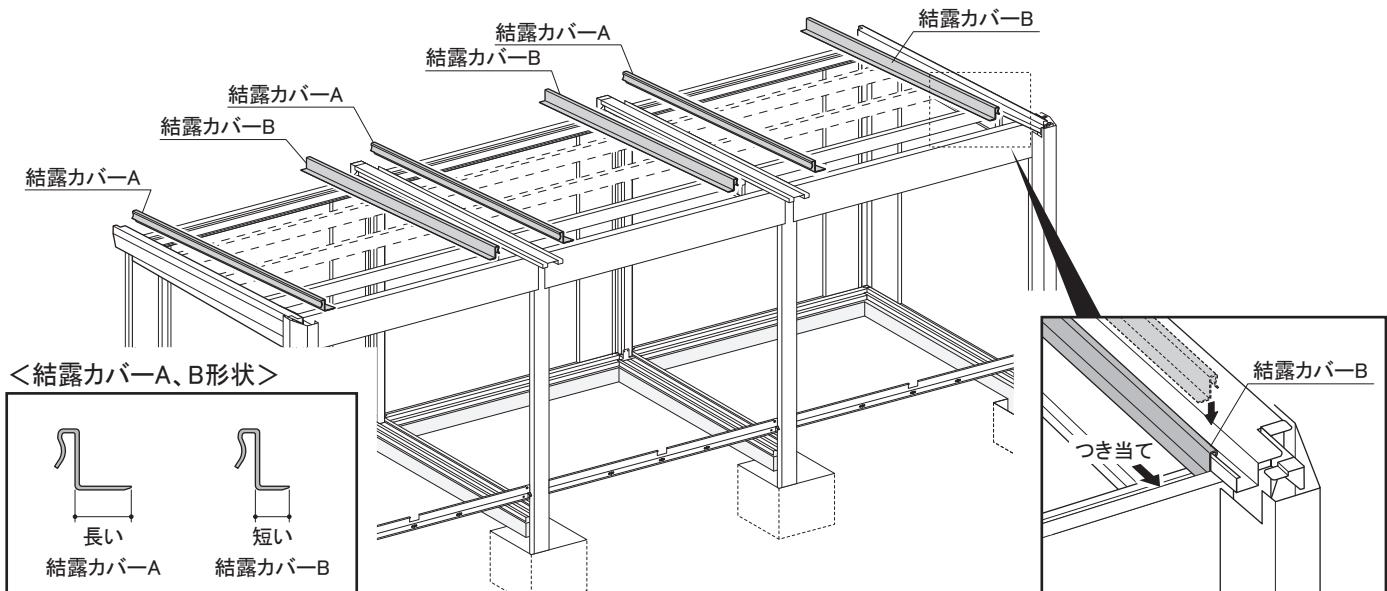
母屋中は一番前の1本だけ取り付け、残りは「17.屋根パネル取付」の後に取り付けると安全に組み立てができます。



16.結露カバーの取付(オプション結露軽減材付き屋根のみ)

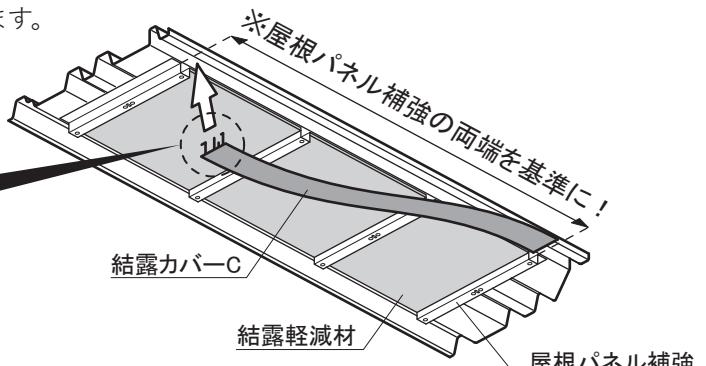
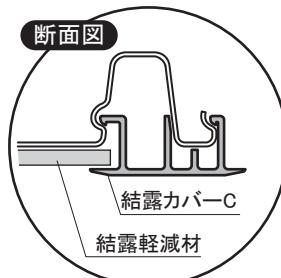
①結露カバーAと結露カバーBを妻板にはめ込みます。

※結露カバーAとBは形状が似ています。形状を確認して取り付けてください。



②屋根パネルの山の小さいほうに結露カバーCをはめ込みます。

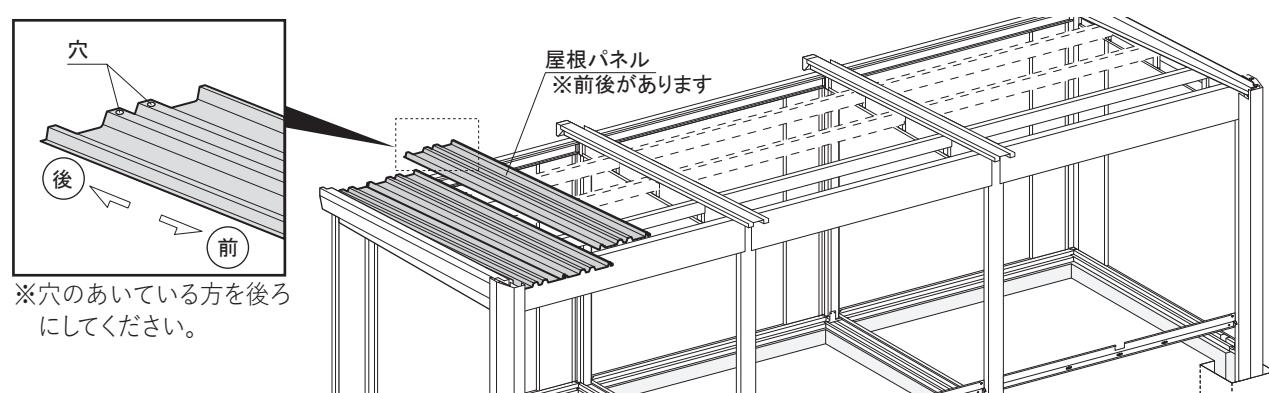
〈結露カバーC形状〉



17.屋根パネル取付

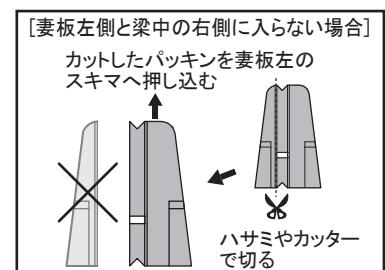
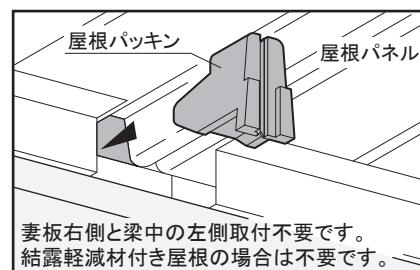
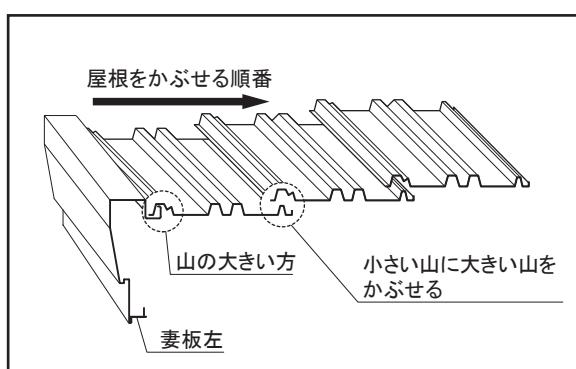
①屋根パネルを妻板左からつなぎ目をかみ合せてのせ、桁前・桁後・母屋中にボルトで取り付けます。

②屋根パッキンを桁後と屋根パネルのつなぎ目に押し込みます。結露軽減材付き屋根の場合は取り付けません。



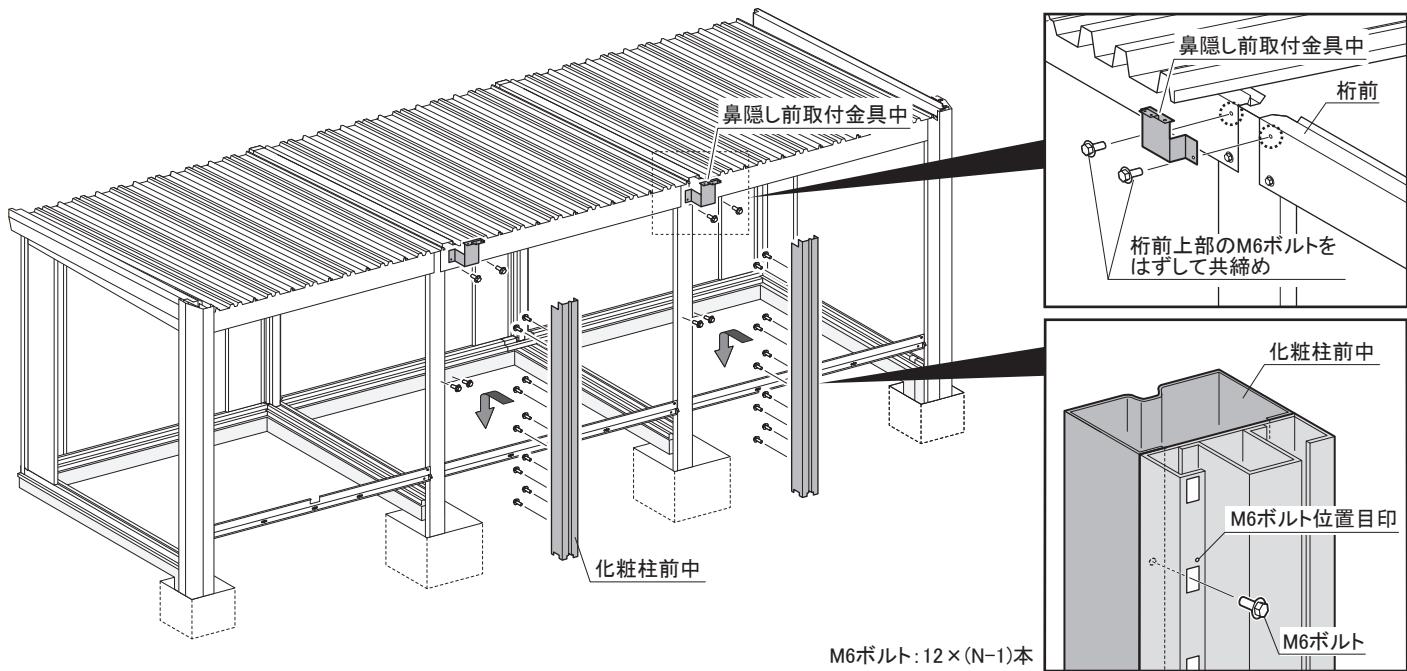
【M6ボルト使用数】N:連棟数

1826HL	1830HL	2226HL	2230HL	2235HL	2626HL	2630HL	2635HL
40×N	40×N	50×N	50×N	60×N	60×N	60×N	72×N



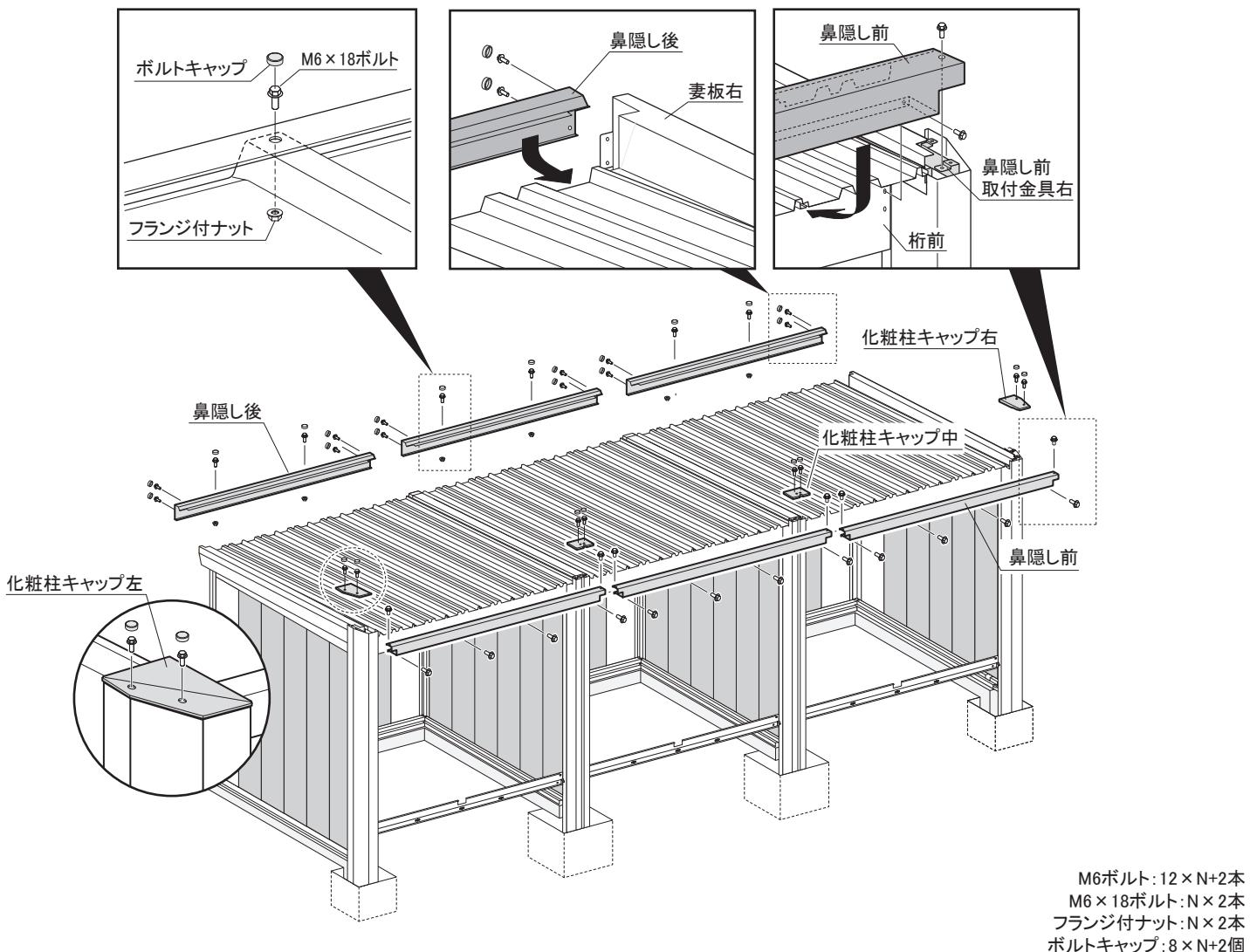
18.化粧柱前中・鼻隠し前取付金具の取付

- ①桁前の上側のボルトをはずし、鼻隠し取付金具中を共締めします。
 ②化粧柱前中をM6ボルトで取り付けます。(柱前中にM6ボルト取付位置の目印があります。)



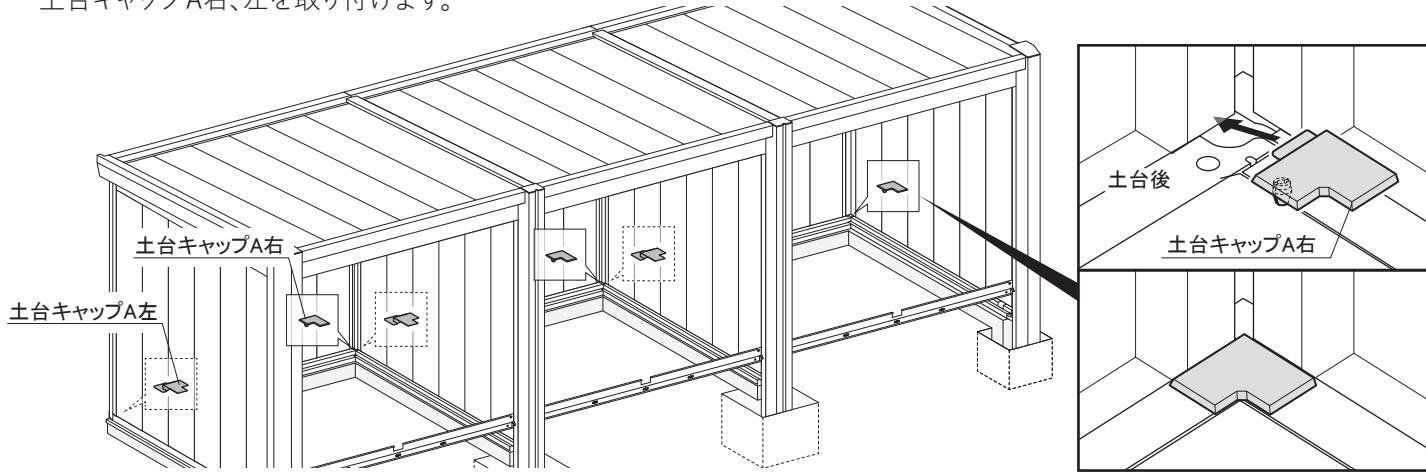
19.鼻隠し・化粧柱キャップ取付

- ①鼻隠し前、鼻隠し後を屋根にかぶせ、ボルトで取り付けます。
 ②壁パネルを「14.壁パネル取付」の●壁パネル組合せ図に従って全て取り付けます。
 ③化粧柱キャップをM6ボルトで取り付けます。
 ※化粧柱キャップの穴が合わない場合は化粧柱のボルトをゆるめて調整してください。



20. 土台キャップA取付

土台キャップA右、左を取り付けます。



21. シャッター取付

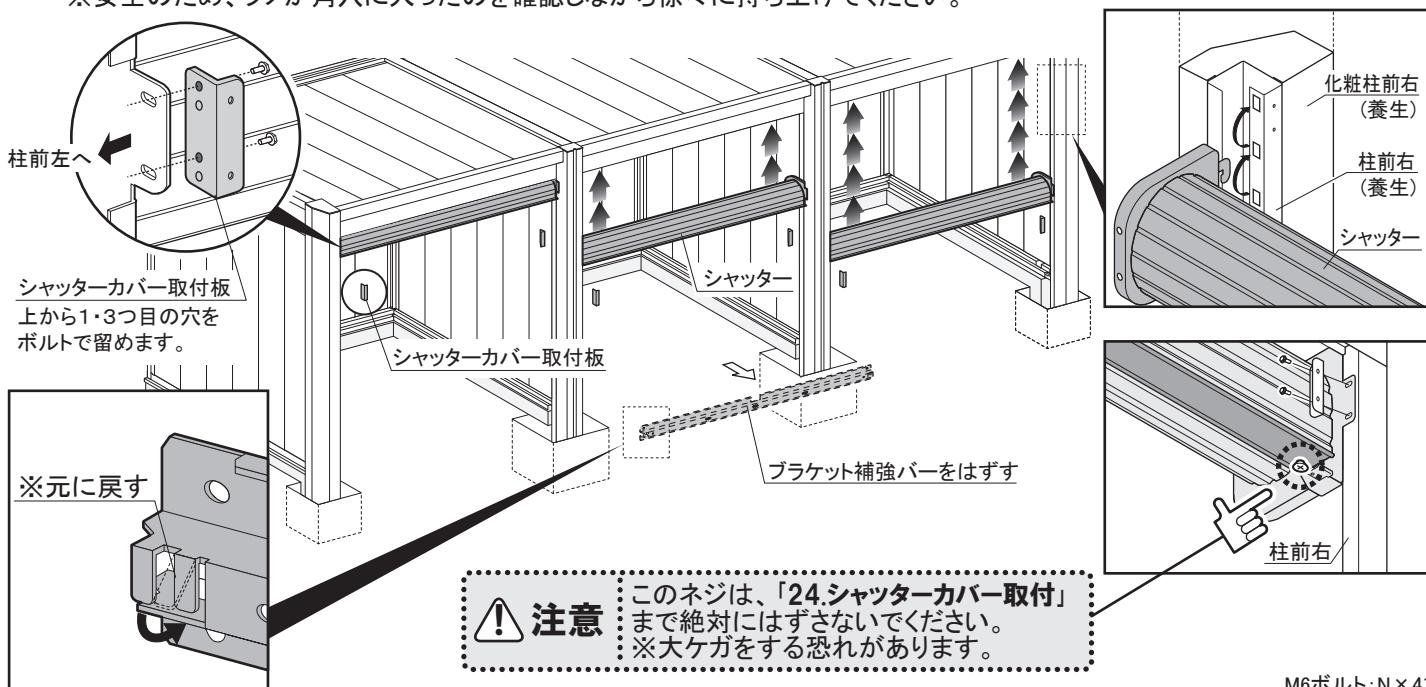
※ブラケットと柱・化粧柱が接触して傷付かないように、養生してください。

①ブラケット補強バーをはずします。

※「13. ブラケット補強バー取付」で曲げたツメは必ず元に戻してください。「シャッターケース」の取り付けができなくなります。

②シャッターのブラケットのツメを柱前の角穴に入れ左右交互に持ち上げます。ツメが1番上の角穴に入ったら、シャッターカバー取付板と共にブラケットを柱前にボルトで取り付けます。

※安全のため、ツメが角穴に入ったのを確認しながら徐々に持ち上げてください。



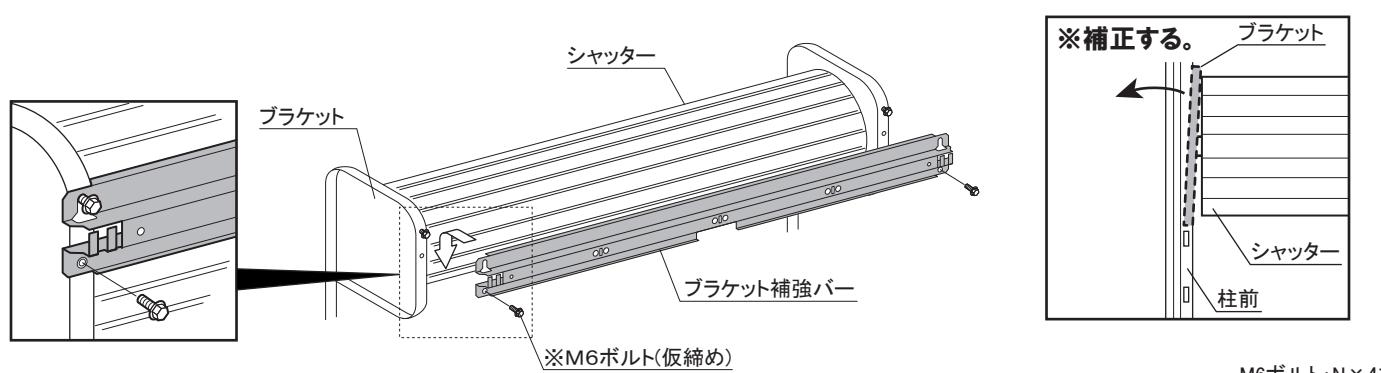
M6ボルト:N×4本

22. ブラケット補強バー取付

ブラケットの一番上のネジ穴にボルトを仮締めし、ブラケット補強バーをそのボルトに引っかけます。

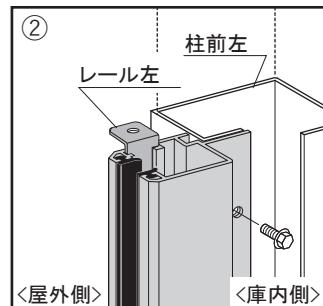
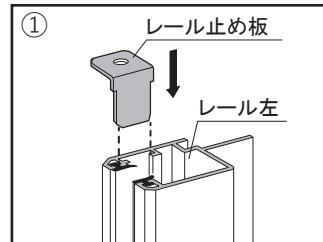
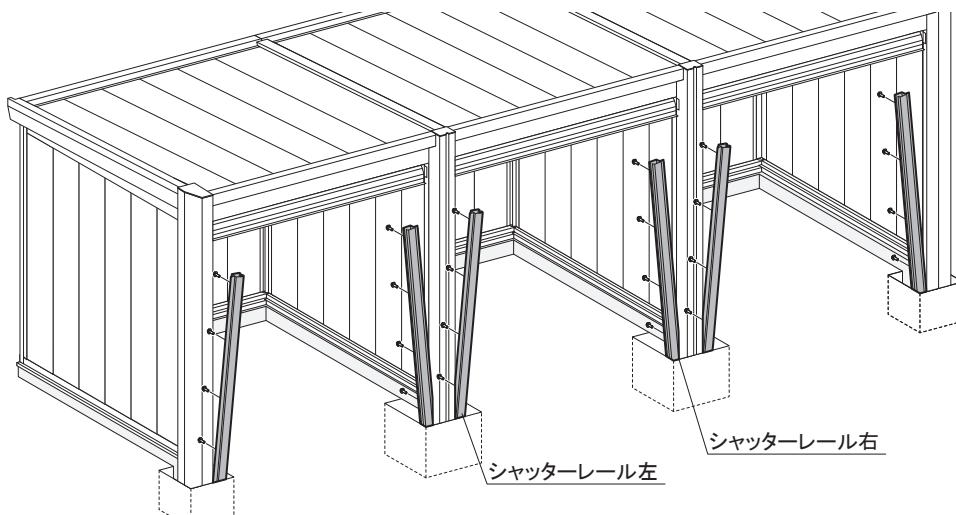
ブラケットのゆがみを補正し本締めしてから、下のボルトを取り付けます。

※ブラケットがゆがんだままですると、異音や故障の原因になります。



23.シャッターレール取付

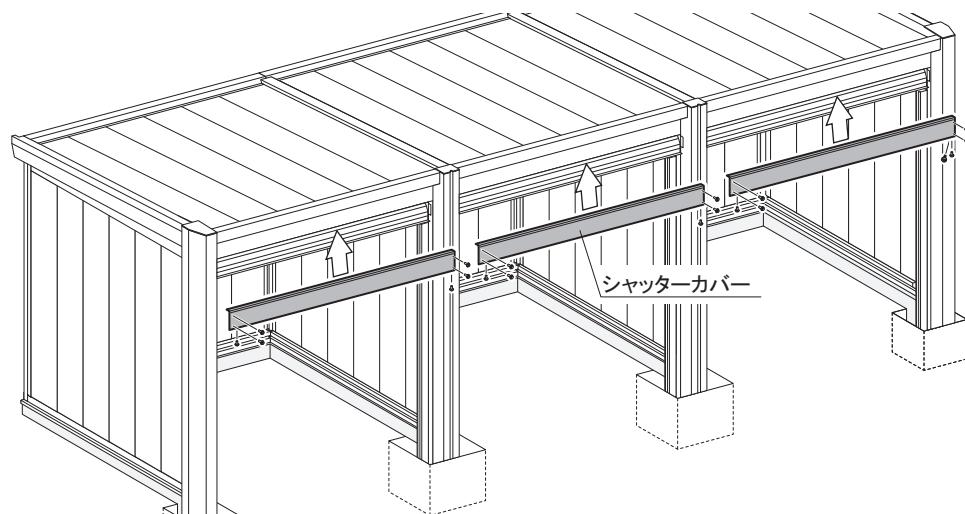
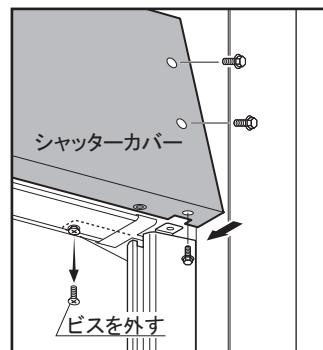
- ①シャッターレール左右上部にレール止め板をたたき込みます。
- ②シャッターレールを柱前にボルトで取り付けます。



M6ボルト:N×8本

24.シャッターカバー取付

- ①シャッターカバーを桁前にはめ、ボルトで取り付けます。
- ②シャッターを止めているビスをはずします。



M6ボルト:N×6本

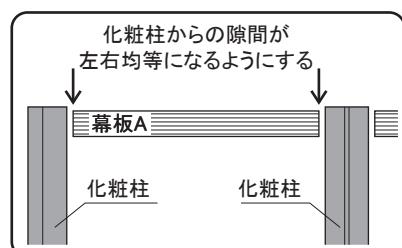
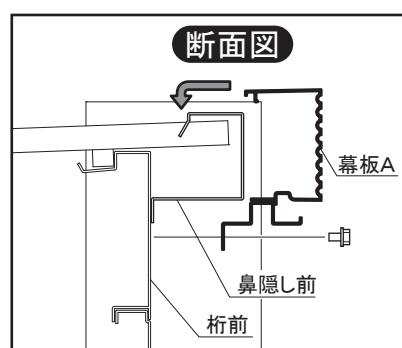
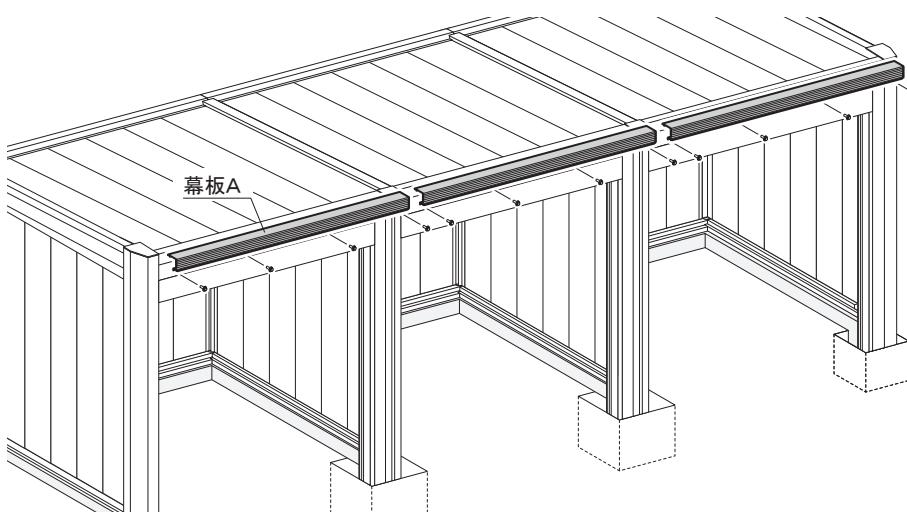
25.シャッターケース取付

シャッターケースの組立説明書を参照し、シャッターケースを取り付けます。

26.幕板取付

26-1幕板Aの取付

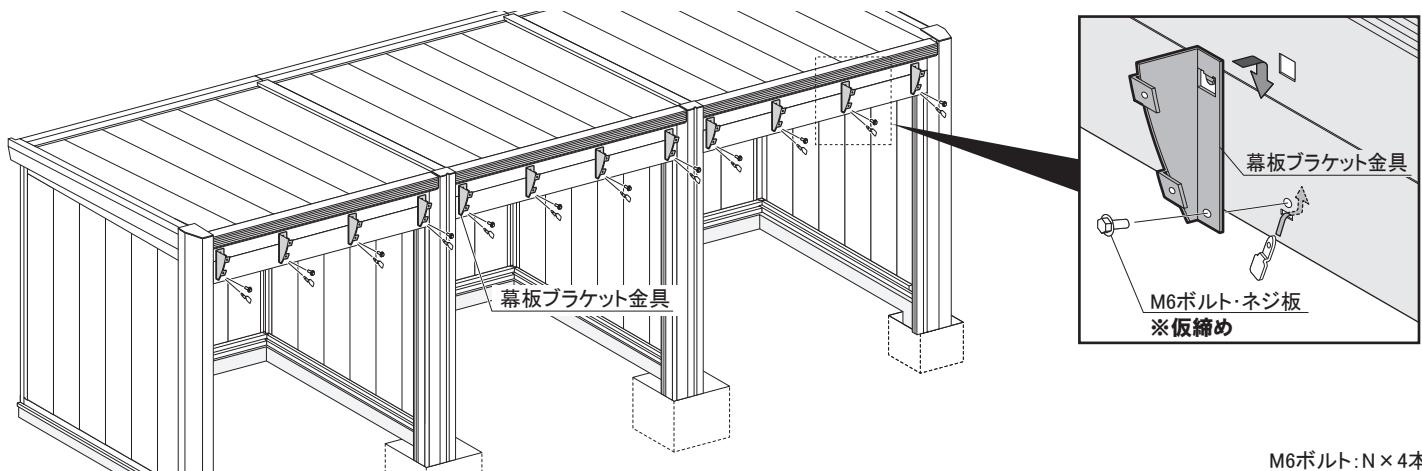
幕板Aを鼻隠し前にのせ、ボルトで桁前に取り付けます。



M6ボルト:N×4本

26-2幕板ブラケット金具の取付

幕板ブラケット金具を桁前にひっかけ、シャッターカバーの○□穴にネジ板とボルトで仮締めします。



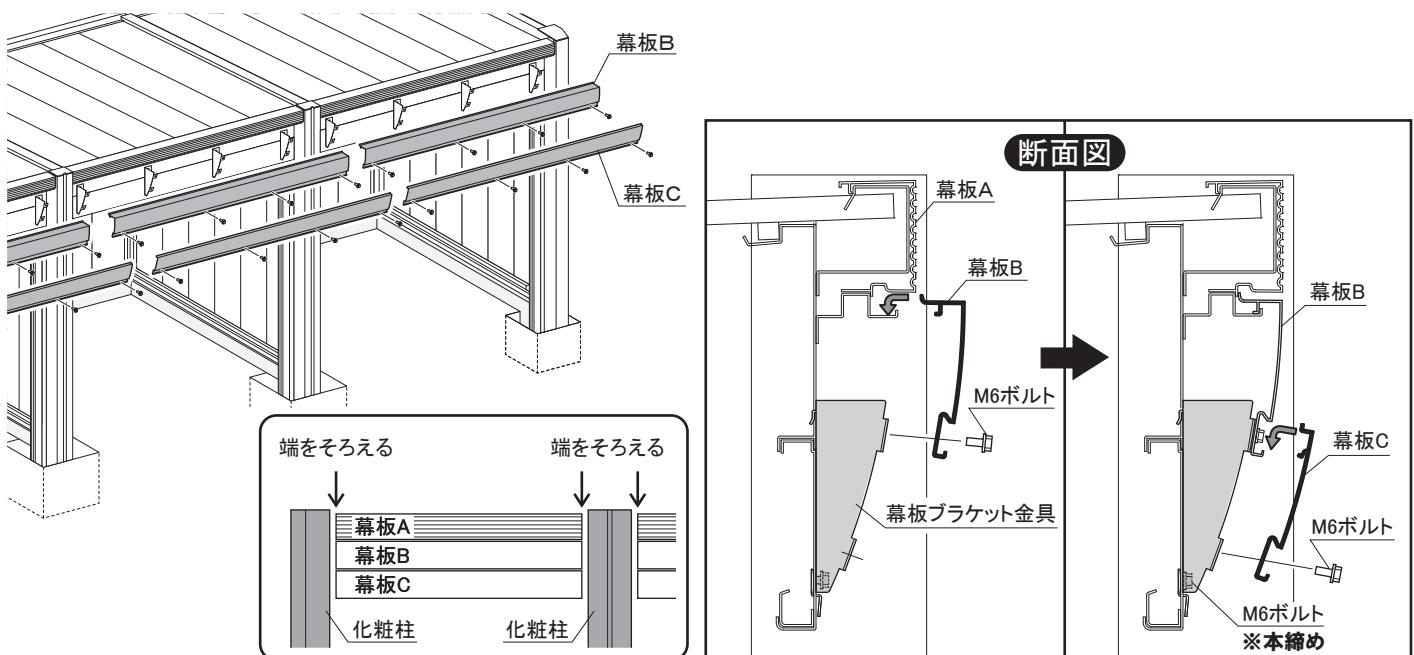
M6ボルト:N×4本
ネジ板:N×4個

26-3幕板B・Cの取付

幕板Bを幕板Aにひっかけ、幕板Aの端と位置を合わせてから、幕板ブラケット金具にボルトで取り付けます。

次に幕板Cを幕板Bにひっかけ、幕板A、Bの端と位置を合わせてから、幕板ブラケット金具にM6ボルトで取り付けます。

26-2で幕板ブラケット金具に仮締めしたボルトを本締めします。

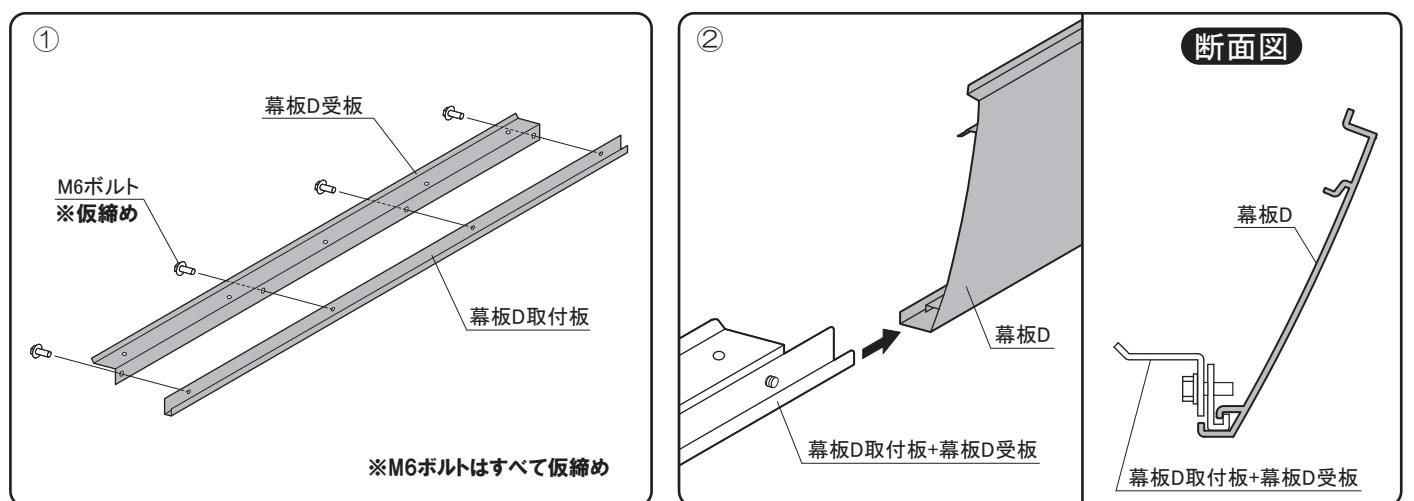


M6ボルト:N×8本

26-4幕板D前工程

①幕板D受板と幕板D取付板をボルトで仮締めします。

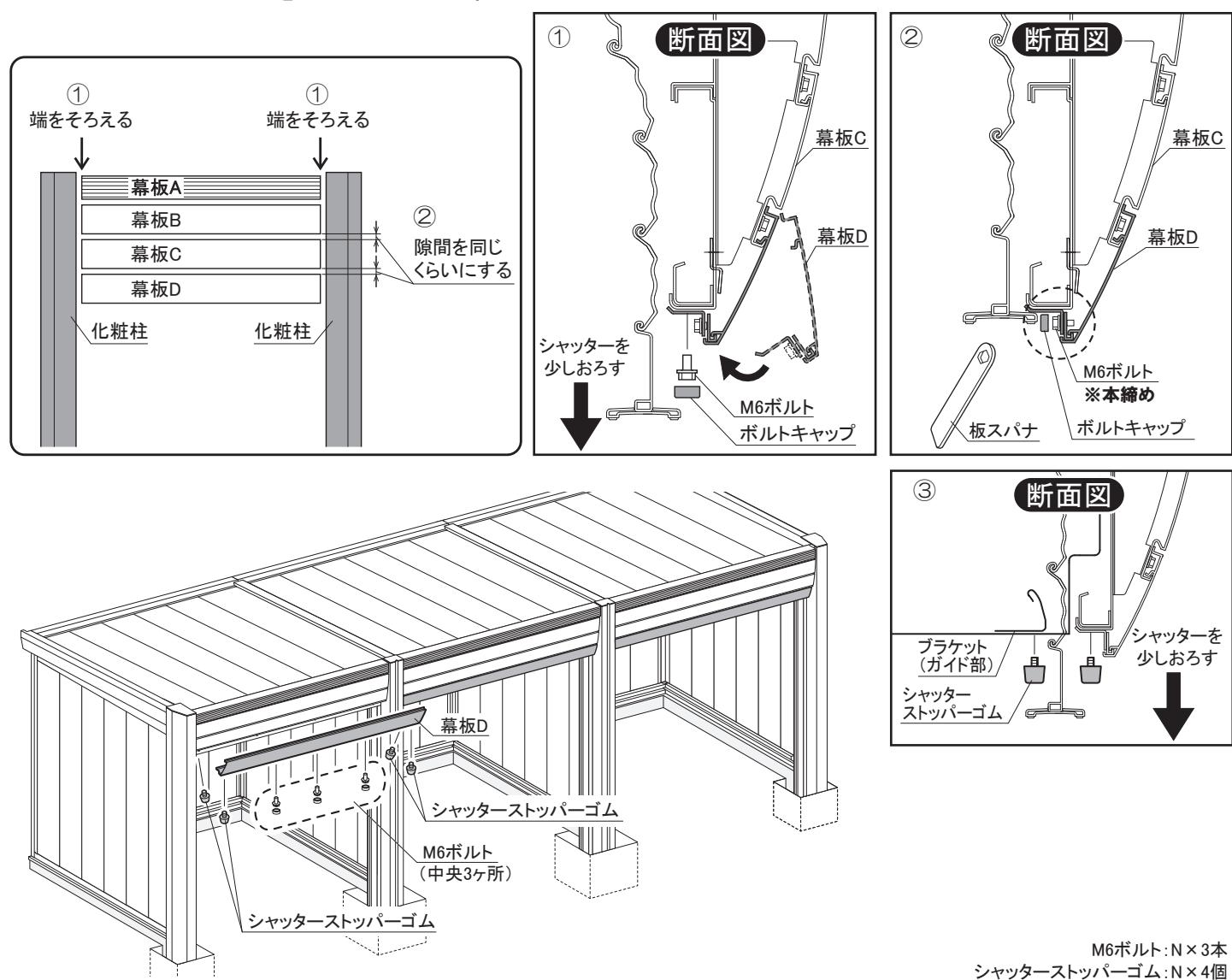
②幕板D受板と幕板D取付板を合わせたものを幕板Dの溝に差し込みます。



M6ボルト:N×4本

26-5幕板Dの取付

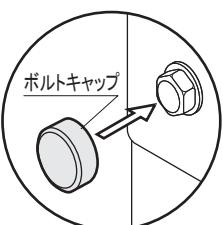
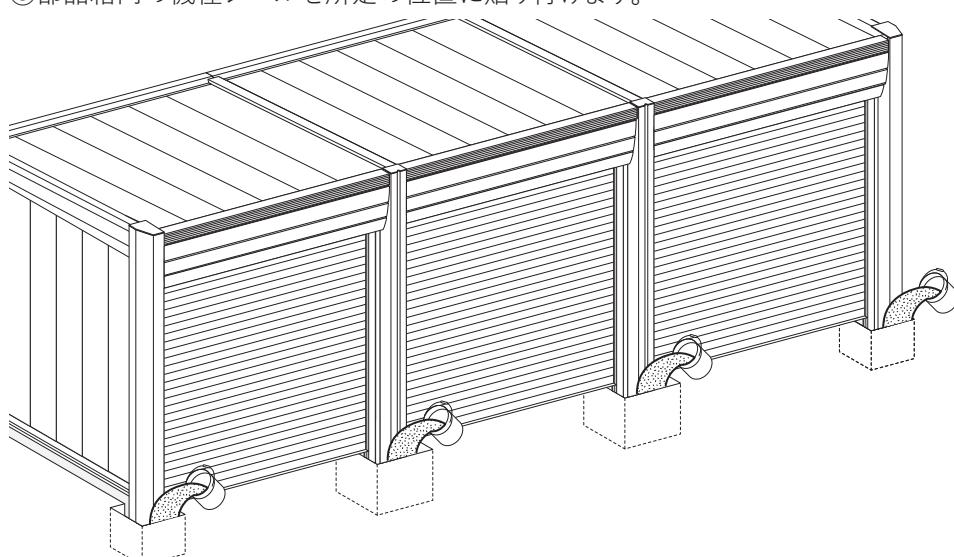
- ①幕板Dを幕板Cにひっかけ、幕板A、B、Cと左右端の位置を合わせます。シャッターを少しおろして、幕板Dをシャッターカバーの中央3ヶ所にボルトで取り付けます。(両端2ヶ所は③でストップゴムを取り付けます。)
- ②幕板C、Dの上下の隙間が幕板B、Cの隙間と同じくらいになるように調整します。**26-4**で仮締めしたM6ボルトを板スパナで**本締め**します。
- ③シャッターを少しおろして、幕板Dの両端とブラケットのガイド部にシャッターストップゴムを取り付けます。
※ボルトにボルトキャップを取り付けてください。



M6ボルト:N×3本
シャッターストップゴム:N×4個
ボルトキャップ:N×7個

27.柱埋め込み

- ①間口寸法と柱前の垂直・通りを確認し、コンクリートを打ち込みます。
- ②外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
- ③部品箱内の機種シールを所定の位置に貼り付けます。



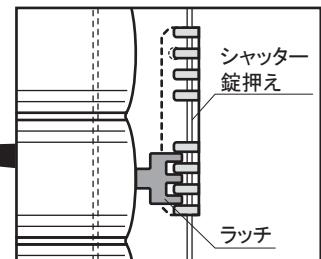
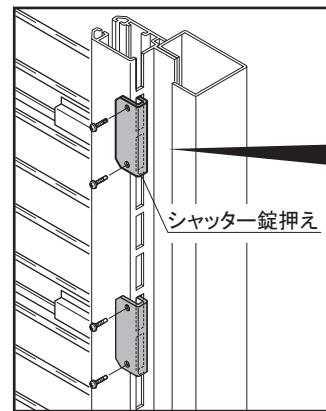
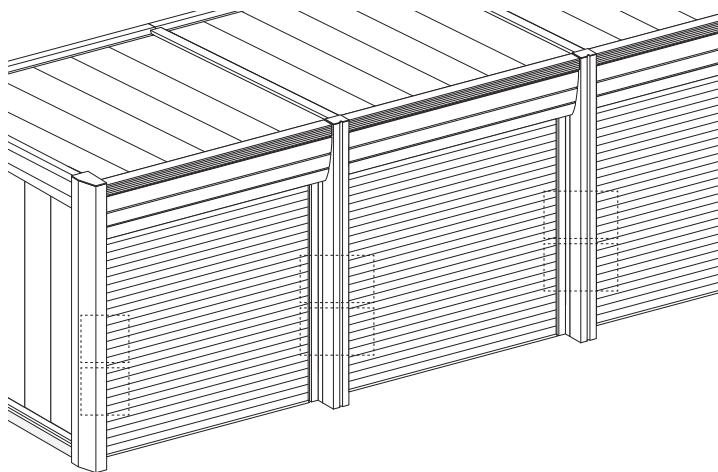
	角穴1ヶ所の必要量			
	柱前中		柱前左右	
	□450	□550	□650	
セメント	12kg	19kg	30kg	41kg
砂	21l	35l	51l	71l
砂利	28l	46l	68l	95l

上記の表以上の量が必要です。

28.シャッター錠押え取付

中からシャッターを閉めツマミで施錠し、シャッターリールの角穴からラッチにかませ、テクスネジで取り付けます。

※土間打ち後、ラッチが上がる可能性があるため、シャッター錠押えの下部にラッチをかませてください。



Φ4×10テクスネジ:N×8本

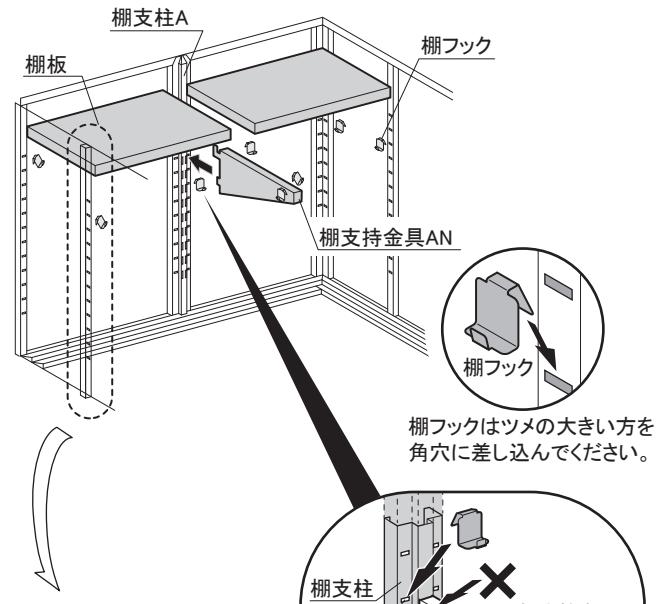
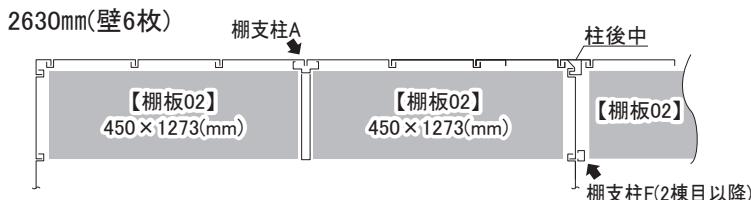
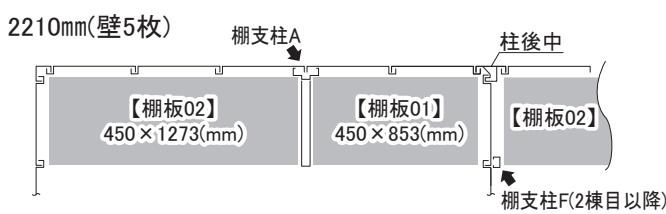
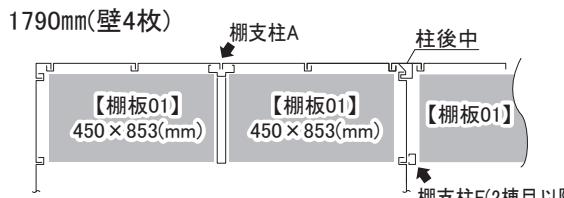
29.組立が完了したら！

保管ケースに取扱説明書・組立説明書を入れ、壁パネル内側の高さ140cmくらいの位置に貼り付けて保管してください。

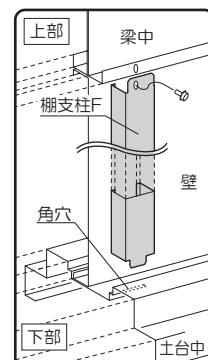
◆別売棚板配置

- ①棚支柱を所定の位置(下図参照)に取り付け、棚支持金具を棚支柱の角穴にひっかけます。
- ②棚板の梱包に入っている棚フックを棚支持金具と壁パネルに差し込み、棚板をのせます。

別売棚Dセット(背面棚)

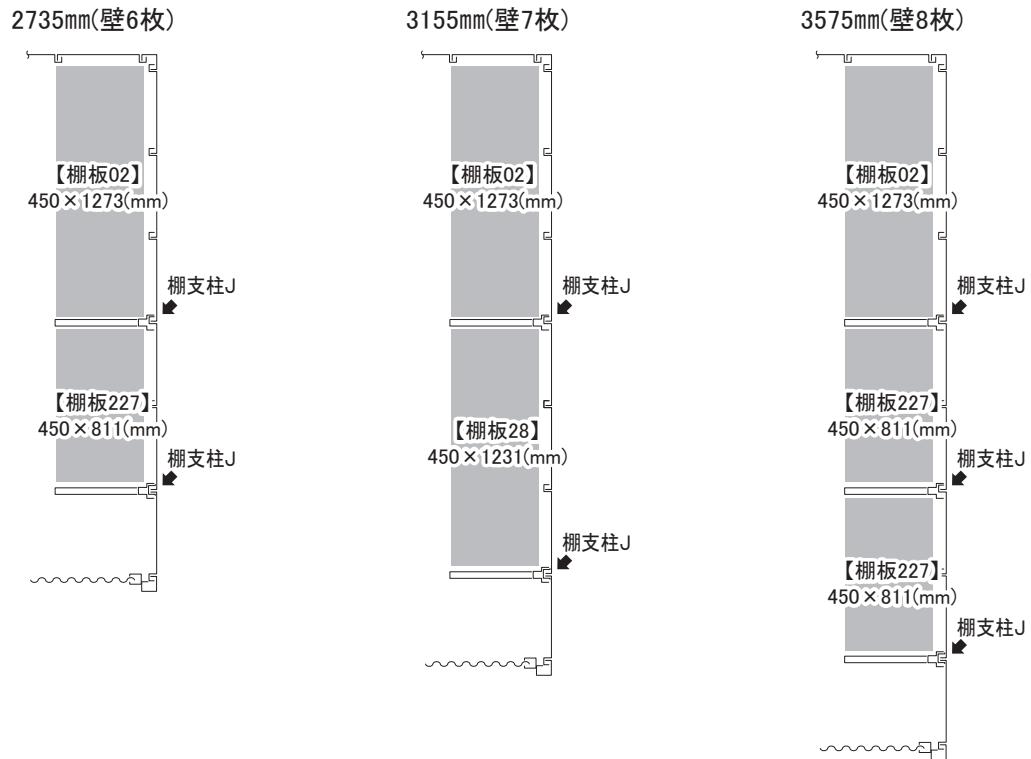


- 2棟目以降は棚板の左前部に棚支柱Fを取り付けます。



棚支柱の角穴を使用してください。

別売棚Cセット(側面棚)



<取付方法>

- ① 棚支柱Jを所定の位置(上図参照)にボルトとネジ板Bで取り付けます。
- ② 棚支持金具UJを棚支柱Jの角穴に差し込みます。
- ③ 棚板の梱包に入っている棚フックを棚支柱(棚支持金具)と壁パネルに引っかけ、棚板を取り付けます。
※棚フックは、棚板の4隅に取り付けてください。

